

令和5年度厚生労働大臣  
表彰者名簿

令和6年2月

厚生労働省社会・援護局  
障害保健福祉部

## 第73回 障害者自立更生等厚生労働大臣表彰

### 趣 旨

障害者週間の中央行事の一つとして、障害を有しながらも、自立更生をして他の障害者の模範となる者等に対し表彰を行い、もって、障害者問題に対する国民の理解と認識を深めるとともに、障害者福祉行政のなお一層の推進を図ることを目的とする。

### 被表彰者

#### (1) 自立更生者（18名）

身体障害者又は知的障害者であって、障害を有しながらも、現在自立更生して他の模範とするに足りると認められる者。

#### (2) 更生援護功労者（33名、1団体）

永年にわたり、身体障害者又は知的障害者の更生援護に尽力し、その功績が特に顕著であると認められる者。

#### (3) 身体障害者等社会参加促進功労者（3名）

身体障害者又は知的障害者の社会参加の促進のため、率先して障害者対策（事業）を実施し、その内容が特に顕著であると認められる者。

## 第73回 障害者自立更生等厚生労働大臣表彰者名簿

### 自立更生者（18名）

No.	県(市)名	氏名	住所	職業
1	青森県	さとう かずみ 佐藤 一美	青森県三沢市	麺類製造業
2	岩手県	あべ えいこ 阿部 栄子	岩手県上閉伊郡大槌町	鍼・マッサージ師
3	福井県	にした けんじ 西田 健治	福井県大野市	あん摩マッサージ指圧師 はり師 治療院経営
4	滋賀県	てらさき ともき 寺崎 智喜	滋賀県草津市	金属材料検査工
5	大阪府	たきうえ まなぶ 滝上 学	大阪府箕面市	社会福祉法人職員
6	奈良県	ほんま まさあき 本間 昌明	奈良県奈良市	有限会社経営 (代表取締役)
7	鳥取県	もりた まさお 盛田 政雄	鳥取県鳥取市	鍼灸師、あんま・マッサージ・指圧師 治療院経営
8	山口県	おおした ひろし 大下 博	山口県柳井市	特定非営利活動法人松久会 理事長
9	愛媛県	おおうち こうじ 大内 浩治	愛媛県八幡浜市	会社員
10	大分県	たかはし いさむ 高橋 勇	大分県別府市	たかはし鍼灸院 (鍼・灸・あん摩マッサージ)
11	札幌市	かつや ひでと 勝矢 秀人	北海道札幌市	鍼灸マッサージ師 (開業)
12	名古屋市	うかい としひろ 鵜飼 敏帆	愛知県名古屋市	就労継続支援A型作業所 利用者
13	北九州市	さわだ はつえ 澤田 ハツエ	福岡県北九州市	澤田鍼灸治療院 (自営業)
14	福岡市	たかやま ちえみ 高山 智恵美	福岡県福岡市	JHCSA認定ヘルスケア・ サプリメントコーディネーター
15	福岡市	うえの ふみお 上野 文雄	福岡県福岡市	鍼灸マッサージ指圧師

No.	県(市)名	氏名	住所	職業
16	岡崎市	なかね こうじ 中根 幸次	愛知県岡崎市	会社員
17	西宮市	やまがた 山縣 よしの	兵庫県西宮市	フリーランスの講師 (障害福祉関係)
18	和歌山市	さかい つとむ 坂井 勉	和歌山県和歌山市	鍼灸マッサージ師

## 更生援護功労者（地方推薦 27名）

No.	県(市)名	氏名	住所	主要役職	功績内容
1	北海道	なかやま 中山 トモ子	北海道 小樽市	小樽ラビット会 (障害者ボラン ティア団体) 副代表	障がい者団体の役員を歴任し、団体表彰を4回、市長表彰を1回、知事表彰を1回受賞している。また平成17年から現在まで、障がい者とのスポーツ活動によりノーマライゼーションの実現を目指すボランティア団体(小樽ラビット会)副代表として活躍している。いつも前向きで会の行事等に積極的に参加し、自身も全盲という障がいを持ちながらも、他の会員らに対し、日頃から思いやりと心配りの姿勢で接し、会長はじめ会員からの信望も厚く、なくてはならない存在となっており、これらの功績は誠に顕著である。
2	北海道	ふるだて 古館 ゆりこ	北海道 磯谷郡 蘭越町	蘭越町身体障 害者福祉協会 理事	平成9年3月に蘭越町身体障害者福祉協会に入会し、平成13年からは幹事、平成21年からは理事として、会員への連絡調整、他の会員の社会参加に尽力し、永年にわたり会の運営と障がい者団体の普及活動に取り組んでおり、蘭越町の障がい者福祉の増進に多大に貢献しており、これらの功績は誠に顕著である。
3	岩手県	むかいだ 向田 幸助	岩手県 九戸郡 洋野町	洋野町身体障 がい者協議会 事務局	昭和60年5月から永きにわたって洋野町(旧大野村)身体障がい者協議会理事・事務局長を務め、現在は事務局として障がい者の更生援護に尽力してきた。また、平成2年4月からは洋野町身体障害者相談員として、障がい者の相談活動に従事するなど、長年にわたって地域の障がい福祉の向上に寄与しており、その功績は誠に顕著である。
4	東京都	たでぬま 蓼沼 康夫	東京都 台東区	台東区手をつ なぐ親の会 会長	台東区手をつなぐ親の会の役員として長年にわたり様々な事業を積極的に実施し障害者の自立や社会参加の促進に大きな功績を遺す。 「みんなのひろば祭」に昭和60年よりボランティアスタッフとして携わり、事務局長及び実行委員長を務める。障害者の社会参加促進や障害者福祉の啓発、ボランティアの育成に大いに貢献するなど、その功績は誠に顕著である。

No.	県(市)名	氏名	住所	主要役職	功績内容
5	石川県	あらき けんじ 荒木 憲司	石川県 七尾市	七尾市身体障害者協議会 会長	荒木氏が活動する七尾市は、平成16年に3町(旧田鶴浜町、旧中島町、旧能登島町)を広域合併しているが、同氏は、率先して連絡調整して合併による身障協議会の一本化に尽力した。また、平成16年10月からは七尾市身体障害者協議会理事として、平成22年5月からは同協議会会長として、協議会の様々な事業に積極的に参加、協力してきたほか、スポーツ大会等を通じ、障害者の社会参加を促すなど、永年にわたり団体の活性化と円滑な運営に努め、その発展に寄与した。更に、平成22年5月からは石川県身体障害者団体連合会役員として、七尾市だけでなく石川県全体の障害者の自立促進と社会参加に大きく貢献しており、その功績は誠に顕著である。
6	山梨県	ほなだ はるお 花田 晴雄	山梨県 笛吹市	社会福祉法人山梨県身体障害者連合福祉協会 理事	平成11年から笛吹市御坂地区身体障害者福祉会の会長を努め、両手が不自由にも関わらず地区の活動に積極的に参画すると共に、自身が民生委員や社会福祉協議会委員として、地域の障害者の社会参加や自立更生を支えてきた。 平成13年には峡東地区障害者連合福祉会の会長、平成17年には笛吹市障害者連合の副会長に就任し、平成13年から山梨県身体障害者連合福祉会理事、平成18年から4年間副会長を務め、障害者の視点からの組織の活性化に取り組んできた。常に当事者意識に立ちながら、永きにわたり先導者として会の活動推進を通じて身体障害者の福祉向上、支援に力を注ぐなど、その功績は誠に顕著である。
7	長野県	こばやし かずお 小林 和夫	長野県 長野市	社会福祉法人長野市身体障害者福祉協会 理事長 社会福祉法人長野県身体障害者福祉協会 理事長	社会福祉法人長野県身体障害者福祉協会、社会福祉法人長野市身体障害者福祉協会、長野市中心身障害者相談員協議会、長野県障がい者社会参加推進協議会の理事長・会長として、県や障がい者福祉団体と連携・協力し、障がい種別ごとに特有の課題の把握に努めるとともに、障がい者差別や合理的配慮に関する啓発を行うなど障がい者福祉の向上の中軸を担っている。また、郡・市身体障害者福祉協会を通じて、県障がい者スポーツ大会や県障がい者文化芸術祭への参加を周知するなど障がい者の社会参加の促進に貢献している。 自身の障がい体験をもとに、障がい者からの相談業務も積極的に行っており、その功績は誠に顕著である。

No.	県(市)名	氏名	住所	主要役職	功績内容
8	長野県	井出 萬成 いで かずしげ	長野県 千曲市	社会福祉法人 長野県聴覚障 害者協会前理 事長	平成6年4月に社会福祉法人長野県聴覚障 害者協会の前身である長野県聴力障害者協 会会長に就任し、社会福祉法人化に尽力し た。また法人化後も20年以上理事や理事長を 務め、同会の運営に参画し、聴覚障害者の社 会参加や聴覚障害の理解啓発に尽力した。 これまで、施設に入ってもコミュニケーション が取れず孤立しがちな聴覚障害者のため、平 成26年に全国初のろうあ者のためのグループ ホームもみじの家を開設し、理事長として運営 を軌道に乗せた。また平成28年の長野県手話 言語条例の成立につながる長野県内での手 話言語の理解普及にも取り組むなど、常に聴 覚障害者の福祉の向上を目指し、リーダー シップで他の模範となるなど、その功績は誠に 顕著である。
9	愛知県	松本 春代 まつもと はるよ	愛知県 海部郡 蟹江町	蟹江町身体障 害者福祉会 監事	蟹江町社会福祉協議会から蟹江町身体障 害者福祉会への会員加入の誘いがあった。そ れを機に、地域の障害のある方々と障害福祉 を推進したいと思いが芽生え、平成4年4月 に入会した。その後、平成6年4月1日に同会 の理事に就任され、婦人部長を経て、平成19 年4月1日に副会長に就任し、現在でも監事と して長期にわたり同会の事業の推進に尽力し ている。 現在、高齢化・社会的孤立化した身体障害 者を支援し、子どもたちのボランティア交流や 社会見学等のレクリエーションの増進、災害時 のボランティア団体及び行政との連携に尽力 され、次世代の育成も視野に入れ、他の模範 として活躍するなど、その功績は誠に顕著であ る。
10	愛知県	神田 元治 かんだ げんじ	愛知県 蒲郡市	蒲郡市身体障 害者福祉協会 会長	蒲郡市身体障害者福祉協会の常任理事とし て、ゲートボールやグランドゴルフ、カラオケ 、作品出展等の行事において、会員や障がい 者に参加するように積極的に声かけをして事 業実施に取り組んでいる。市の委託事業とし て、障がい者の健康増進と社会参加の促進及 び活動能力の向上を図るために親睦旅行等 を計画・実施し、協会の発展と福祉の向上に 貢献した。 また平成12年から27年の長きにわたって同 協会の相談員を務め、平成19年から21年及び 令和5年から同協会の会長として活動し、会員 からの信頼も厚く、更生援護に尽力しておりそ の功績は顕著である。

No.	県(市)名	氏名	住所	主要役職	功績内容
11	滋賀県	ますだ さだお 増田 定雄	滋賀県 甲賀市	公益財団法人 滋賀県身体障 害者福祉協会 副会長 甲賀市身体障 害者更生会会 長 甲賀市パラス ポーツ協会副 会長	<p>旧甲賀町身体障害者更生会に入会后、平成9年度から長年にわたり会計を担当され、市町村合併後、甲賀市身体障害者更生会の理事(総務部長・会計)として、財政面から会の運営に尽力され、平成29年度からは、副会長、会長を歴任。会のリーダーとして、事業の企画立案から実施にあたり、その人脈の広さから、様々な方面に声をかけながら、バス旅行や懇親会などを実施し、大変多くの方が楽しまれている。</p> <p>令和元年度からは(公財)滋賀県身体障害者福祉協会の理事、副会長として、会長を補佐し、コロナ禍という会の活動が非常に困難な時期でも、多くの方と交流できるような工夫により事業実施に取り組み、会の活動と運営に尽力されている。</p> <p>また、平成15年度からは、滋賀県身体障害者相談員、甲賀市身体障害者相談員を務められ、障害者の雇用環境をはじめとして、地域の障害者の日常の困りごと等幅広い内容に的確に対応され、良き相談役として活躍されるなど、その功績は誠に顕著である。</p>
12	兵庫県	うえの ひろじ 植野 浩治	兵庫県 川西市	一般財団法人 兵庫県肢体不 自由児者協会 理事	<p>川西市立川西養護学校校長時代に、財団法人兵庫県肢体不自由児協会の評議員に就任し退職後も評議員として、肢体不自由児の養護学校卒業後の社会参加への支援を続けた。一般財団法人兵庫県肢体不自由児者協会理事として、役員会において積極的に発言し、肢体不自由児者の社会参加のために協会の活動の活性化の必要性を説いた。</p> <p>また、肢体不自由児者協会の主要行事であるふれあいバザーにも準備の段階から積極的に関わり、事務局への支援を行い、行事の充実に貢献してきた。協会のクリック募金では、居住地域、交友関係等に声をかけ、クリック募金を依頼し、肢体不自由児者への理解啓発に努めた。同様に協会の活動への支援のための賛助会員への加入、協会への寄付金を呼びかけ、財政面で貢献するなど、協会の活動の充実に円滑な運営にへの功績は誠に顕著である。</p>



No.	県(市)名	氏名	住所	主要役職	功績内容
13	兵庫県	さい ひろまさ 佐井 裕正	兵庫県 神戸市	一般財団法人 兵庫県肢体不 自由児者協会 理事	本協会が一般財団法人として再出発した時より理事として、本協会の肢体不自由児者に対する理解啓発活動等の中心となり協会をリードしてきた。特に協会が実施してきた小規模なバザーをバザー協力企業を増加させ、多様なコンサート出演団体を招き、関係者だけでなく、地域の行事、交流の場としての「ふれあいバザー&チャリティコンサート」へ転換させ、毎年多くの地域の方、肢体不自由児者が集う交流の場にした功績は大きい。また、協会の活動に欠かせない安定的な財源の一つである「クリック募金事業」に当初から積極的に参加し、協会の組織経営の基盤強化に貢献するなど、その功績は誠に顕著である。
14	兵庫県	こんどう まゆみ 近藤 真由美	兵庫県 西宮市	公益財団法人 兵庫県手をつ なぐ育成会 評議員 一般社団法人 西宮市手をつ なぐ育成会 監事	平成16年4月から西宮市手をつなぐ育成会において、副会長、会長として、地域の知的障害児者の福祉向上に尽力するとともに、平成28年5月からは公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会理事、副理事長として、地域活動で培った豊富な知識経験や指導力を活かし、理事長をよく補佐しながら各地区育成会の組織充実のための指導助言、知的障害者への療育・専門相談、兵庫県に対する政策要望を推進した。また、地域生活・高齢化対策部会長として、障害者の高齢化や親なきあとの不安に対応する高齢障害者専用施設への視察など、会員が直面する困難な課題に即した事業を企画実施するなど、その功績は誠に顕著である。
15	兵庫県	おかだ たもん 岡田 多聞	兵庫県 川西市	特定非営利活 動法人裸足の 楽園 理事長 身体障害者福 祉協会 監事 身体障がい者 相談員	平成14年10月に音訳グループ「さわらび」に所属、平成24年4月～31年3月にはグループ代表就任し、目の不自由な方への支援に励んでいる。平成16年からは川西市身体障害者福祉協会に所属、平成25年4月には理事に就任し、身体障がい者の福祉に尽力している。また、平成21年4月からは特定非営利活動法人である裸足の楽園に所属、平成30年5月より理事長に就任し、障がい者の居場所づくりに関わっている。さらに、平成28年4月からは川西市の身体障がい者相談員としても活躍している。 加えて、障がい者のスポーツ大会やイベントにおいて司会者も務めるなど、長年にわたり、身体障がい者の福祉に多大なる貢献をしており、その功績は誠に顕著である。

No.	県(市)名	氏名	住所	主要役職	功績内容
16	奈良県	岸元 慈 きしもと めぐむ	奈良県 御所市	一般社団法人 奈良県身体障 がい者団体連 合会 代表理 事(会長)	平成16年に脳梗塞により右半身に障害が残り肢体不自由になった直後から御所市身体障害者福祉協会の会員となり、その後同協会の役員・会長に、平成25年からは奈良県身体障害者福祉協会連合会の理事・副会長・会長にそれぞれ就任し、その間一貫して障害当事者の立場から障害者からの様々な相談に応じながら障害者が少しでも社会経済活動に参加できるように体育大会、ハイキングイベント、寄せ植え教室、料理教室、研修会などを企画、開催し更生援護の活動を継続している。また、障害者スポーツに積極的に取り組み、全国障害者スポーツ大会への出場に挑戦を続けることで他の障害者にチャレンジ精神を示し模範となっている他、障害者が取り組みやすいスポーツとしてボッチャ大会の企画運営にも参画し多くの障害者に体力の維持と社会参加の場を提供する活動を継続するなど、その功績は誠に顕著である。
17	鳥取県	安養寺 立志 あんようじ たてし	鳥取県 鳥取市	河原町身体障 害者福祉協会 会長 鳥取県身体障 害者相談員 社会福祉法人 鳥取県身体障 害者福祉協会 監事	鳥取県身体障害者福祉協会の評議員、監事や、地元河原町身体障害者福祉協会の理事、副会長、会長を永きにわたって務め、障害者の自立と社会参加の促進に取り組んだ。また、下肢機能障がい足が不自由であるが、困難に立ち向かい、卓球やグランドゴルフに取り組み、卓球では、全国障害者スポーツ大会に出場するなど、積極的にスポーツに取り組んでいる。さらに、身体障害者相談員として、障害者からの相談を親身になって受け、障害者の福祉活動に取り組んでいる。これらの経験から、公共施設整備の際には、スロープの設置、車椅子利用者のトイレ設置などを訴えるとともに、鳥取県社会福祉審議会などの委員としても参画し、積極的な発言をしており、障害者の福祉向上を目指す一貫した姿勢と行動力で他の模範となり、その功績は誠に顕著である。

No.	県(市)名	氏名	住所	主要役職	功績内容
18	鳥取県	にしお けんいちろう 西尾 健一朗	鳥取県 鳥取市	社会福祉法人 鳥取厚生事業 団 職員	昭和63年4月に社会福祉法人鳥取県厚生 事業団に採用され、障害者福祉センター厚和 寮の生活指導員として勤務して以来複数の障 害者支援施設等に勤務し、35年8月の永きに わたり施設の利用者の生活支援等に献身的 に従事し、利用者が安心して豊かで充実した 生活を送れるよう努めた功績は大きく、福祉の 向上に貢献した。また、令和2年に支援主幹と なり、施設の円滑な運用、利用者へのサービ ス向上及び職員の育成指導等、施設の発展 に大きく寄与するなど、長年施設利用者の更 生援護に尽力し、その功績は誠に顕著であ る。 □ □ □
19	徳島県	かじ きよし 賀治 清	徳島県 板野郡 藍住町	藍住町社会福 祉協議会 理 事 藍住町身体障 害者会 会長 身体障害者相 談員 社会福祉法人 徳島県身体障 害者連合会 評議員	平成16年から藍住町身体障害者会役員とし て積極的に会の運営に参加、平成22年から は会長として強力なリーダーシップを発揮し、 その実行力で会の活動を牽引している。社交 性に富む明るく快活な人柄でボランティア精 神にも富み、地域のみならず幅広い分野に豊 富な人脈を持つ。 障がい者のみならず社会的弱者への思いや りが深くそのための活動と労力を惜しまない。 身体障害者相談員としても活躍し、会員をはじ め地域の様々な相談にも親身に耳を傾け関 係機関とのパイプ役として、相談支援の一翼を 担っており、多年にわたり障がい者福祉の向 上および地域福祉の向上に寄与している。ま た、会員の面倒見も良く行事への参加や活動 を率先して行い、地域住民の信頼も厚く、団体 や地域のまとめ役としてなくてはならない存在 でありその功績は誠に顕著である。

No.	県(市)名	氏名	住所	主要役職	功績内容
20	熊本県	さいとうみのる 才藤 実	熊本県 葦北郡 芦北町	社会福祉法人 熊本県身体障 害者福祉団体 連合会 評議 員 熊本県身体障 がい者 相談 員 芦北町身体障 害者福祉連合 会 理事	<p>昭和60年に脳卒中により障がい者となる。平成7年まで芦北町役場に勤務。平成8年4月より地域の障がい当事者団体である芦北町身体障害者福祉連合会佐敷支部の理事となり、翌平成9年4月芦北町身体障害者福祉連合会の理事となる。以来、芦北町身体障害者福祉連合会の役員として組織拡充、財政基盤の安定を図り、芦北町役場福祉課と連携を強化し、長年にわたり積極的に会の運営にあたっている。</p> <p>平成9年4月から熊本県身体障がい者相談員の委嘱を受け、元役場職員の人脈を活かし芦北町役場福祉課と連携を取りながら地域の障がいのある人の相談支援にあたってきた。相談員就任歴は26年になる。令和2年7月豪雨の際は、自らも被災しながら地域の被災した障がいのある人の支援を行った。平成28年7月に熊本県身体障がい者相談員協議会理事に就任し、県全体の身体障がい者相談員の連携強化、指導育成を行っている。</p> <p>平成18年5月から社会福祉法人熊本県身体障害者福祉団体連合会の評議員に就任し、法人の運営に協力するなど、その功績は誠に顕著である。</p>
21	鹿児島県	はやしやまげたか 林山 重孝	鹿児島県 指宿市	指宿市身体障 害者相談員	<p>平成14年から令和3年まで20年以上にわたり、指宿市の身体障害者福祉協会の理事、会長を歴任し、協会の維持発展及び会員の方々の福祉の向上のために尽力した。</p> <p>また、平成17年から平成31年の間、鹿児島県身体障害者協会連合会の理事、副会長、会長を歴任し、平成29年から2年間は鹿児島県身体障害者福祉協会の理事を務めており、県全体の障害者福祉の発展にも寄与している。</p> <p>さらに、平成17年から現在まで、身体障害者相談員として地域の障害者への助言指導に携わり、障害者の自立した生活や社会参加の促進に力を注いでおり、その功績は誠に顕著である。</p>

No.	県(市)名	氏名	住所	主要役職	功績内容
22	仙台市	くまがい ゆういち 熊谷 勇一	宮城県 仙台市	一般社団法人 仙台市障害者 スポーツ協会 理事長	<p>平成24年7月に仙台市障害者スポーツ協会(令和3年11月一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会)の理事長に就任し、各種スポーツ教室や、宮城県・仙台市障害者スポーツ大会の実施、障害者週間事業の一環として、多くの方が障害の有無・年齢・性別を問わず障害者スポーツ体験を介して交流できる「ウエルフェアスポーツ」を毎年開催するなどして、障害者スポーツの振興と障害理解促進に尽力している。</p> <p>また、令和3年8月に行われた東京2020パラリンピック競技大会においてもイタリアパラリンピック代表選手団の事前合宿の招致を実現させるなどして、市民へのパラスポーツの理解促進、普及啓発に努めている。長年にわたる障害者福祉、障害者スポーツの向上に対する熱意と行動は他者の模範となるどころであり、その功績は誠に顕著である。</p>
23	川崎市	おおすき すみこ 大漣 純子	神奈川県 川崎市	特定非営利活動法人 川崎 外出支援セン ター理事長	<p>視覚障害当事者として障害者の親睦、交流等福祉増進のための活動を長年にわたり続けている。</p> <p>川崎市視覚障害者福祉協会には昭和53年に入会し、長く役員を努め、現在は理事・女性部長として家庭生活訓練の運営等をきめ細かい配慮のもと主導している。</p> <p>また、川崎市身体障害者協会では理事等として法人運営に積極的に参画した。</p> <p>さらに、同行援護事業等を行う川崎外出支援センターでは発足以来理事を勤め、現在理事長の要職にある。障害者福祉に対する強い信念のもと、自らの意見をもち大局的な判断をする姿勢は敬服に値し、その他多くの活動に積極的に関わるその功績は誠に顕著である。</p>

No.	県(市)名	氏名	住所	主要役職	功績内容
24	岡山市	はやしひでお 林 英生	岡山県 岡山市	社会福祉法人 岡山市手をつなぐ育成会前 理事長	<p>長年、様々な感染症を研究する医師(岡山大学・香川医科大学・筑波大学)として活躍した傍ら、自身も知的障害のある子どもの父親として障害福祉に携わってきた。平成15年中国学園大学に教授として勤務しながら、岡山市手をつなぐ育成会会員である母親たちやその家族や本人たちの健康面、それに伴う栄養面の相談などを専門的な立場から積極的に助言、指導をいただいた。また、中国学園大学の学生と当会とのつながりにもご尽力し、現在の育成会の本人達の活動(和太鼓・ダンス等)につながっている。平成20年、(社福)岡山市手をつなぐ育成会評議員として法人運営など多岐にわたり活動し、福祉ホームの建設にも尽力した。平成22年理事長に就任し、(社福)岡山市手をつなぐ育成会の多くの事業所の運営に携わるとともに、障害のある人たちのグループホームを新たに設立、地域生活支援拠点としての事業を始めるなど相談事業の拡充、充実といった知的障害者本人やその家族のニーズにこたえながらこれからの障害者福祉に必要な事業を積極的に展開するなど、これらの功績は誠に顕著である。</p>
25	函館市	ささもと ひろこ 笹本 廣子	北海道 函館市	函館肢体障害者福祉協会 副会長 一般社団法人 函館市身体障害者福祉団体 連合会理事	<p>昭和50年4月に函館肢体障害者福祉協会に入会直後から、48年以上にわたり同協会の役員を歴任し、各種活動を積極的に行っており、会員のまとめ役として中心的役割を果たしている。</p> <p>平成24年4月には、同協会の副会長に就任し、現在に至っている。</p> <p>また、平成30年4月からは、一般社団法人函館市身体障害者福祉団体連合会の理事に就任し、役員としての重責を担い、障害者団体に対する更生援護活動を行っている。</p> <p>このほか、平成9年から函館市リサイクルセンターの職員(指導員)として、同センターに勤務している障害者の就労を支えている。</p> <p>このように、自ら身体障害者でありながら、長年にわたり身体障害者に対する更生援護活動を行っており、その功績は誠に顕著である。</p>

No.	県(市)名	氏名	住所	主要役職	功績内容
26	金沢市	かんべ ただよし 神戸 忠義	石川県 金沢市	金沢市身体障害者団体連合会 理事	<p>昭和63年から、金沢市脳卒中リハビリ友の会理事としてスポーツやその他の事業・会合に率先して参加し、会員間の親睦に貢献した。また、平成12年に金沢市米丸校下身体障害者福祉協会会長に就任してからは、会員の福祉増進に積極的に取り組み、会員の社会参加推進に尽力している。</p> <p>さらに、平成18年から金沢市身体障害者団体連合会理事に就任し、体育部長として同会主催の各種スポーツ行事を企画・運営するなどリーダーシップを発揮し、会の発展に寄与するとともに、障害者福祉活動において幅広く活躍しており、その功績は誠に顕著である。</p>
27	呉市	あらかわ ひでお 荒川 英雄	広島県 呉市	呉市視覚障害者協会 相談役	<p>視力の機能障害が発生し、昭和32年5月に視力障害1級の身体障害者手帳を取得。その後、呉市視覚障害者協会理事をはじめ、呉市身体障害者福祉協会の役員などを50年近くに渡って務め、現在も呉市視覚障害者協会の相談役として活躍している。</p> <p>また、自身の経験を活かし、身体障害者相談員として、会員のみならず、他の視覚障害者の就業などの相談に親身に応じている。</p> <p>併せて、鍼灸師として鍼灸院を運営する傍ら、平成8年から一般社団法人広島県鍼灸マッサージ師会に所属し、理事や広報部長等も務めるなど、多年に渡り団体及び呉市の福祉の増進に貢献するなど、その功績は誠に顕著である。</p>

更生援護功労者（中央推薦 6名1団体）

No.	団体名	氏名	住所	主要役職	功績内容
1	公益社団法人日本オストミー協会  (岩手県)	かわむら まさし 川村 正司	岩手県 盛岡市	公益社団法人日本オストミー協会 代表理事・副会長 公益社団法人日本オストミー協会 岩手県支部事務局長 国土交通省東北運輸局移動円滑化評価会議東北分科会委員 岩手県ひとにやさしいまちづくり推進協議会委員	平成12年11月、52歳で直腸悪性腫瘍により人工肛門の造設手術を受け、オストメイトとなった。 平成13年岩手県支部に入会、平成18年に岩手県支部事務局長として、日本オストミー協会全国大会(岩手大会)を迎えるに当たって全国の高速度サービスエリアへのオストメイトイレ設置に取組み、結果として全国200箇所に(上下線40ヶ所)にオストメイトイレが整備された。又、岩手県沿岸地域は有史以来何度と繰り返される津波被害を受けており、東日本大地震・津波以前より災害対策の啓発に努めた。3.11の津波発生直後からオストメイトの救済活動を行政・医療とともに活動、被災地からの発信として全国各地で3.11の被災状況、災害対策、災害時の救済ありかたについて、講演活動を行っている。 平成23年から本部理事になり現在も代表理事副会長としてオストメイトのQOL(生活の質)の向上と障害者の福祉改善・災害対策に活躍しており、その功績は誠に顕著である。
2	公益社団法人全国脊髄損傷者連合会  (和歌山県)	うえみち ひろき 上道 廣己	和歌山県 日高郡 日高川町	公益社団法人全国脊髄損傷者連合会 和歌山県支部 支部長	昭和51年より全国脊髄損傷者連合会の会員となり、以来和歌山県支部の中心として活動する。昭和57年には和歌山県支部の相談役に就任、支部長の側近として和歌山県支部の発展に尽力した。平成13年には支部長代理に就任する。和歌山県立医科大学附属病院をはじめ、様々な医療機関と連携しピアサポート活動をおこなってきた。令和元年には和歌山県支部の支部長に就任。支部長就任後は和歌山県だけに限らず全国の会員や困っている当事者にピアサポート活動をおこない、また勉強会やイベントを計画・実施してきた。 一方、当会での活動と並行し昭和55年に日高地方脊髄損傷者会を結成、以来40年以上会長として日高地方に密着しピアサポート活動、当事者の社会参加促進に尽力し、その功績は誠に顕著である。



No.	団体名	氏名	住所	主要役職	功績内容
3	社会福祉法人聴力障害者情報文化センター  (東京都)	いっばんやだんほ 一般社団法人 うじん にほんしゅわつ 日本手話通 うやくしきょうかい 訳士協会	東京都 文京区	—	平成3年に手話通訳士の資格を持つ専門職の職能集団として設立。設立以降、手話通訳士の基本的な理念となる「手話通訳士倫理綱領」の制定を始めとする様々な活動を行い、社会的に評価されるべき職能集団としての確立に取り組むなど、聴覚障害者へのコミュニケーション保障を担う専門集団として聴覚障害者福祉の向上に貢献した功績は誠に顕著である。
4	社会福祉法人日本盲人福祉委員会  (東京都)	おぐち よしひさ 小口 芳久	東京都 世田谷区	慶應義塾大学名誉教授 社会福祉法人日本盲人福祉委員会理事	昭和42年に眼科学教室入室後、50年以上眼科医師として活躍してきている。多くの角膜移植術、白内障手術法の改善、緑内障、レーベル病等の研究に取り組み、視覚障害発症の予防や治療において多大な貢献をした。さらに教育にも力を入れ、指導した医師が全国で活躍している。医療、医学教育、福祉の幅広い領域での、長年に渡るその功績は誠に顕著である。
5	一般社団法人日本自閉症協会  (和歌山県)	おおくぼ なおひさ 大久保 尚洋	和歌山県 田辺市	一般社団法人日本自閉症協会常任理事 特定非営利活動法人和歌山県自閉症協会会長	和歌山県自閉症協会会長として、和歌山県の自閉スペクトラム症児者及びその家族の支援を中心となり行ってきた。平成22年には和歌山県で日本自閉症協会全国大会を開催。県内の自閉症啓発の促進に多大なる貢献をした。また、市施策推進協議会委員、市議会議員、きのくに教育協議会副委員長、県教育支援委員会委員、県施策推進審議会委員、バリアフリー検討委員、県福祉事業団保護者会連絡協議会会長など、福祉、教育等様々な市や県の大要職を歴任し、地域の自閉症に対する理解や社会啓発活動へ積極的に従事するなど、和歌山県全体の福祉の発展にも貢献している。日本自閉症協会においては、ASJ保険事業の自閉症の人の入院費用や賠償などの負担に対する不安を軽減する保険制度の整備や災害対策、全国の地域の団体とのネットワークづくりに尽力し、これまで理事、常任理事として広域的な活動や組織運営に参画した功績は誠に顕著である。

No.	団体名	氏名	住所	主要役職	功績内容
6	一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会  (東京都)	おがわ みつひこ 小川 光彦	東京都 中野区	一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 理事・情報文化部長 公益財団法人 共用品推進機構 理事	<p>幼少時から難聴があり、補聴器を使用して聴者と共に学び就労したが、コミュニケーションの壁を感じ苦慮していた。聴覚障害の仲間と出会い、聴覚障害者にとっての情報アクセシビリティの重要性の教示を受け、活動に目覚めた。平成7年上京し、全国的な聴覚障害者向け総合情報誌「いくおーる」の編集に携わり、平成22年2月の休刊まで編集長として発行し、情報発信に努めた。</p> <p>当事者団体や関係機関、企業等で情報アクセシビリティ関連の情報交換、提案、要求に努めた。障害者関係各種規格の国内・国際標準化に際し、聴覚障害者の視点で作成に関与し、その功績は誠に顕著である。</p>
7	一般社団法人全国児童発達支援協議会  (東京都)	うちやま つとむ 内山 勉	東京都 足立区	一般社団法人全国児童発達支援協議会 監事	<p>言語聴覚士・心理士として通園施設で障害児療育を長年実践する一方で、大学・研究所で研究者として障害児療育向上のための臨床研究に従事した。特に難聴児療育について、難聴児を0歳で発見し、補聴器もしくは人工内耳装用下での療育を6歳まで行うことで、発達に問題のない難聴児は年齢相応の言語力・会話力を習得して小学校通常学級に就学できることを実証する複数の論文を専門学術誌に2000年～2022年の間に発表し、難聴児早期発見のための新生児聴覚スクリーニング検査の有用性の証明と全国的な普及に貢献した。また団体役員として全国の障害児施設実態調査や療育関連行政資料作成に長年関わり、障害児療育の向上に貢献し、その功績は誠に顕著である。</p>

## 社会参加促進功労者（地方推薦 2名）

No.	県(市)名	氏名	住所	主要役職	功績内容
1	三重県	こうの 耕野 かずひと 一仁	三重県 名張市	宗教法人「地藏院」住職・代表役員	<p>平成22年より名張市身体障害者互助会「やまなみの会」(以下、互助会という)の役員を務め、互助会と他団体との文化交流を図るための研修会の企画や、名張市スポーツ大会実行委員会への参加など、障がい者(児)の社会参加や社会への周知のための活動に尽力している。</p> <p>平成29年度には互助会の会長に就任。現在も、前職で得た福祉や教育行政の知識と経験を活かし、会員一人ひとりの声を受け止め、新しい発想で互助会の活性化を図るなど障がい者(児)の社会参加や社会への周知等に力を注いでいる。</p> <p>市の福祉に関する条例等の整備や制定についても、互助会を代表して策定委員として参画されており、市の障害福祉の充実及び発展への貢献は多岐にわたり、その功績は誠に顕著である。</p>
2	八尾市	しげまる 重丸 きょうこ 京子	大阪府 八尾市	八尾視覚障がい者福祉協会 会長	<p>八尾視覚障がい者福祉協会会長として、一般市民に対する視覚障害者を理解してもらうための啓発活動、特に、小学4年生を対象とした「視覚障害者理解のための講座」(学校啓発)を実施。八尾市障害者団体連合会理事として、市内各地区において、「災害時における障害者理解・支援講習会」を実施し、視覚障害者の介助(手引き)の実践活動に従事し、その功績は誠に顕著である。</p>

## 社会参加促進功労者（中央推薦 1名）

No.	団体名	氏名	住所	主要役職	功績内容
1	公益社団法人日本 パラス ポーツ協会  (埼玉県)	すやま てつお 陶山 哲夫	埼玉県 所 沢 市	東京保健医療 専門職大学 学 長	<p>①1986年7月～2002年6月 日本身体障害者スポーツ協会 医学委員 日本身体障害者スポーツ協会の設立時の医学委員として当時の障がい者スポーツの医学的サポートを行った。当時は車いす使用者がスポーツをすることは難しいとされている中で、リハビリの一つとして始まったスポーツを通じて障がい者の社会的自立を促進した。</p> <p>②2002年7月～2022年3月 日本パラスポーツ協会 医学委員長 パラスポーツ特有のクラス分け、治療薬を抱えるパラ選手のアンチ・ドーピング活動、国際大会でのメディカルチェックなどがスムーズに行えるように、医学委員内に各担当チームを作り、組織的にパラ選手の医学的サポートを行えるシステムを構築した。またパラスポーツ医の養成についての制度を整え、現在600名を超えるパラスポーツ医が地域で活躍している。</p> <p>③2006年9月～2019年10月 アジアパラリンピック医学委員、アジアパラ大会医学委員長 2006年のフェスピック(現アジアパラ大会)クアラルンプール大会以後、アジアパラ大会の医学委員、アジアパラリンピック委員会での医学委員、医学委員長を歴任し、アジア地域でのパラスポーツの組織力強化、クラス分け、アンチ・ドーピング対策等を行った。</p> <p>④2002年6月～2005年6月 日本障害者スポーツ協会 評議員 障がい者の医学的側面をサポートする立場として、評議員に就任し、実際の大会での選手たちの体調管理等の様子やクラス分け、アンチ・ドーピング等、専門知識を生かしたサポートを行った。</p> <p>⑤2005年7月～2023年6月 日本パラスポーツ協会 理事 医学的立場から、当協会の理事として当協会の運営協力を行った。活躍の場は国際大会だけでなく、障がい者がスポーツを通じて生活を豊かにするため、障がいの受傷後の社会的自立を進める活動に尽力した。 これらの功績は、誠に顕著である。</p>